

つ新しい抗うつ薬。医学のあゆみ 120:801-802, 1982.

◆ 学会報告

1) 渡辺和夫, 渡辺裕司, 菊地 徹, 劉 瑞梅: アイヌ民間薬フッキソウ成分 Pachysandra alkaloids の中枢興奮作用。日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪。

2) 渡辺和夫: 和漢薬の駆瘀血作用に関する実験薬理学的研究: ストレス性胃出血ならびに臓器血流に対する和漢薬の作用。科学技術庁瘀血研究班研究成果報告会, 1982, 6, 東京。

3) 萩原昌樹, 渡辺和夫: Indomethacin と 2-deoxy-D-glucose の併用によるラット幽門前庭部潰瘍の性質。日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪。

4) Goto Y., Debas H. T. and Basso N.: Hypothalamic modulation of stress induced ulceration in the rat. 第10回実験潰瘍懇話会, 1982, 11, 富山。

5) 萩原昌樹, 渡辺和夫: Rat における thyrotropin-releasing hormone (TRH) の側脳室内投与による胃酸分泌及び胃粘膜に対する作用。第10回実験潰瘍懇話会, 1982, 11, 富山。

6) 渡辺和夫: 胃液分泌の中枢性調節に作用する薬物: 特に GABA および Dopamine 関連薬物の作用機構。第1回胃腸調節因子研究会, 1982, 9, 東京。

7) 萩原昌樹, 渡辺和夫: ラット側脳室内 TRH 注入による胃酸分泌反応に対するドパミンアゴニストの抑制作用。第32回日本薬理学会北部会, 1982, 10, 富山。

8) 渡辺和夫, 後藤義明, 清水理央: 胃酸分泌における γ -アミノ酪酸とその関連化合物の刺激作用, ならびにその拮抗薬及びジアゼパムとの相互作用。第33回日本薬理学会北部会, 1982, 10, 富山。

9) 萩原昌樹, 渡辺和夫: ラットにおける 2-deoxy-D-glucose 刺激胃酸分泌に対する bromocriptine の抑制作用, 中枢 DA 系の関与の可能性。第55回日本薬理学会総会, 1982, 3, 東京。

10) 渡辺裕司, 渡辺和夫: γ -Butyrolactone によるラット線条体ドパミン含量に対する線条体内 high K^+ および Ca^{2+} 溶液投与の影響。第55回日本薬理学会総会, 1982, 3, 東京。

11) 渡辺裕司, 渡辺和夫, 畑 温: ラット黒質電気刺激により誘発される旋回行動に関する薬理学的研究。日本薬小会北陸支部会第56回例会, 1982, 6, 金沢。

12) 渡辺裕司: 中枢ドパミン作動性機構に対する

和漢薬作用の研究。日本薬学会北陸支部会第57回例会, 1982, 7, 金沢。

13) 渡辺裕司, 渡辺和夫, 菊地 徹: 辛夷成分 d-coclaurine および d-reticuline の中枢ドパミン作動性機構に対する作用。第16回和漢薬シンポジウム, 1982, 8, 東京。

14) 渡辺裕司, 渡辺和夫: 辛夷成分 d-coclaurine, d-reticuline ならびに関連化合物のラット脳内ドパミン代謝に対する作用。第33回日本薬理学会北部会, 1982, 10, 富山。

臨 床 利 用

教 授	大 浦 彦 吉
助 授	日 合 奨
助 手	横 澤 隆 子
助 手	長 澤 哲 郎

◆ 原 著

1) Yokozawa T., H. Oura and T. Okada: Metabolic effects of dietary purine in rats. J. Nutr. Sci. Vitaminol. 28:519-526, 1982.

2) 横澤隆子, 大浦彦吉, 中川 晔, 岡田敏夫: アデニン長期投与による血清尿酸レベルの上昇と腎機能障害。日本農芸化学会誌 56:655-663, 1982.

3) 横山弘臣, 日合 奨, 大浦彦吉, 林 輝明: 副腎皮質ホルモン分泌に及ぼす数種生薬総サポニンの作用。薬学雑誌 102:555-559, 1982.

4) 横山弘臣, 日合 奨, 大浦彦吉: 桔梗 Platycodin ならびにその Prosapogenin methyl esters のラット血漿コルチコステロン分泌促進活性。薬学雑誌 102:1191-1194, 1982.

◆ 総 説

1) 大浦彦吉, 横澤隆子: 薬用人参の生化学, 現代東洋医学 3:55-61, 1982.

◆ 学会報告

1) 渋谷真也, 長澤哲郎, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫: タンニンの生理活性に関する研究—Rhatannin によりアミノ酸代謝に対する作用機構。日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪。

2) 横澤隆子, 井澤敬子, 小林妙子, 大浦彦吉, 山本昌弘: 薬用人参サポニンの各種脂質量及び glucose-6-phosphatase 活性に対する影響。日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪。

3) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 薬用人参サポニンとそのプロサポゲニン・ゲニンのコルチコステロン分泌促進活性。日本薬学会第102年

会, 1982, 4, 大阪.

4) 横澤隆子, 大浦彦吉, 中川 晔, 近藤昌子, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究, (1)代謝変動について. 日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

5) 深瀬真之, 小泉富美朝, 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与実験における生化学的ならびに病理学的研究, (2)腎臓の病理組織学的変化. 日本栄養食糧学会総会, 1982, 5, 東京.

6) 大浦彦吉, 横澤隆子, 井澤敬子, 山本昌弘, 川島裕次: 薬用人参サポニン (ginsenoside) のコレステロール代謝に対する影響. 日本生化学会総会, 1982, 10, 大阪.

7) 横澤隆子, 大浦彦吉, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与による腎結石モデル動物の研究. 日本生化学会総会, 1982, 10, 大阪.

8) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 薬用人参サポニンの化学構造と生物活性. 和漢薬シンポジウム, 1982, 8, 東京.

9) 大浦彦吉, 長澤哲郎, 渋谷真也, 西岡五夫, 野中源一郎, 原 敬二郎: 大黃の窒素代謝に対する基礎的臨床的研究. 第16回和漢薬シンポジウム, 1982, 8, 東京.

10) 二階堂 保, 大本太一, 三川 潮, 真田修一, 庄司順三, 笠井良次, 田中 治, 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 酵素阻害活性による漢薬有効成分の研究(第11報), 人参, 竹節人参についてその2. 日本生薬学会, 1982, 9, 札幌.

11) 大浦彦吉: 和漢薬の作用機序への生化学的アプローチ (シンポジウム: 漢方方剤の新しい薬効評価). 日本生薬学会, 1982, 9, 札幌.

12) 大浦彦吉, 西岡五夫: タンニンの生理活性とその臨床応用, 天然薬物の開発と応用シンポジウム, 1982, 7, 大阪.

病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一
助 教 授 中 島 松 一
助 手 片 山 和 信
文 部 技 官 林 和 子

◆ 著 書

Yamamura K., Ogita Z. and Markert C. L. : The use of chimeric rats in the analysis of the hooded Pigmentation Pattern, Genetic approaches to developmental neurobiology, by Tsukada Y.

(Ed.), 111-120, University of Tokyo Press, Japan, 1982.

2) 荻田善一: ヒト染色体地図と遺伝病 遺伝子組み換え実用化技術第3集, 323-346, サイエンスフォーラム, 1982.

◆ 編 集

1) 山村雄一, 荻田善一, 大浦敏明: 先天性代謝病免疫病ハンドブック, 1-833, 代謝第19巻10月臨時増刊号, 中山書店, 1982.

◆ 原 著

1) Isobe M., Ogita Z., Yoshida M., Tosu M. and Sekiguchi T. : Epigenetic modulation of the mouse HGPRT gene in interspecific reconstituted cells and cybrids. FEBS LETTERS 144 : 293-298, 1982.

2) 熊谷 朗, 笠貫順二, 寺沢捷年, 土佐寛順, 山本昌弘, 今田屋 章, 矢野三郎, 荻田善一: 生薬製剤に“大峰胃腸丸”の臨床効果の研究——二重盲検法によるシャクヤク(芍薬)効果の比較研究——薬理と治療 10 : 363-371, 1982.

◆ 総 説

1) 荻田善一: 血清コリンエステラーゼ異常症(サクサメトニウム過敏症), 代謝(臨時増刊号)19 : 168-169, 1982.

2) 荻田善一: 薬剤過敏症. 代謝(臨時増刊号)19 : 138-139, 1982.

3) 荻田善一: 遺伝子表現の変動とその原因. 最新医学(増刊号)37 : 46-54, 1982.

4) 荻田善一: 血漿酵素蛋白異常総論. 代謝(臨時増刊号)19 : 150-153, 1982.

5) 荻田善一: in vitro の人類遺伝学をめざして, 医学のあゆみ 121 : H-2-H-15, 1982.

6) 荻田善一, 桃井啓子: 染色体クローニングから遺伝子ライブラリーへ. 医学のあゆみ 121 : 530-542, 1982.

7) 荻田善一, 山村研一, 林 和子: 人工キメラ動物作製法と遺伝子表現の解析におけるその利用. 神経研究の進歩 26 : 21-30, 1982.

8) 荻田善一: 生化学的形質としての代謝異常症. 代謝(臨時増刊号)19 : 4-5, 1982.

9) 荻田善一: 遺伝性代謝異常症の発症機構. 代謝(臨時増刊号)19 : 6-7, 1982.

10) 荻田善一: 試験管内人類遺伝子学の展開, 代謝(臨時増刊号)19 : 8-9, 1982.

11) 荻田善一: 家系図の書き方, 代謝(臨時増刊号)19 : 42-43, 1982.

12) 荻田善一: 家系図による遺伝形式の推定. 代